

A. 対象装置(機種), 対象機器

対象装置(機種)、対象機器は下記の通りです。

1. 対象装置(機種)

MAS-801HR, MAS-8000, MAS-1800, APT-4800
※トランクケース仕様も含む。

2. 対象機器

下記に示す項目を組み合わせた機器が対象になります。

- (1) 富士通(株)プラズマモニタFTE8050BP ←以下、PDPモニタと言う。
- (2) 富士通(株)プラズマインターフェース基板FPF04A-NB(N320-5209-T052/03) ←以下、FPF04A-NB基板と言う。
- (3) Carroll Touch社インターフェース基板Part NO. 01-5002-1230 REV.A ←以下、キャロルタッチ制御基板と言う。

注意点

PDPモニタのプラズマモニタ用電源(FPF04P-AC100T, FPF07P-AC100Aなど)は、10.4型互換モニタX7104AL-R2(以下、互換モニタと言う。)に交換することにより不要となります。ただ、プラズマモニタ用電源の出力端子(+5VDC)がSVC DSPREV基板5085B9106Bなどに接続されていることが有りますので、プラズマモニタ用電源の出力端子の接続先をご確認ください。

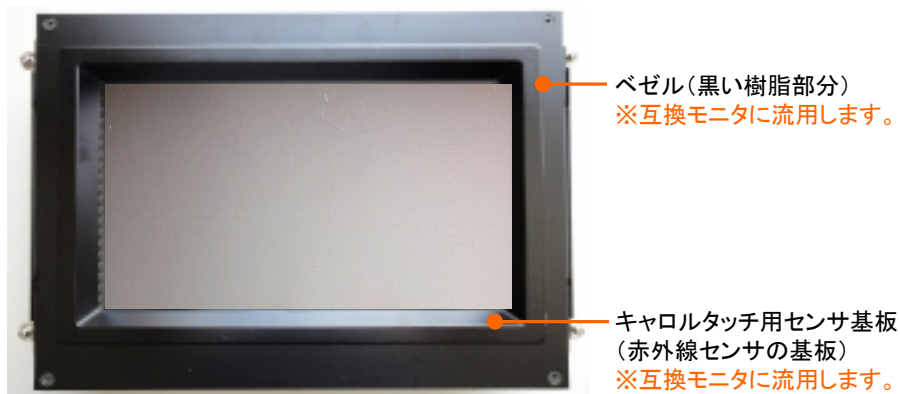
B. モニタの交換方法

下記の手順にて既存モニタを10.4型互換モニタX7104AL-R2(以下、互換モニタと言う。)に交換してください。

1. 既存モニタの構成

既存モニタのは、図1. に示す構成機器により構成されています。

なお、ベゼル(黒い樹脂部分)とキャロルタッチ用センサ基板(赤外線センサ基板)は、一体構造になっています。



正面図



背面図

図1. 既存モニタの構成機器

2. 既存モニタの取り外し

図2. に示す既存モニタから既存のコネクタ①から③を引き、装置本体から既存モニタを取り外します。

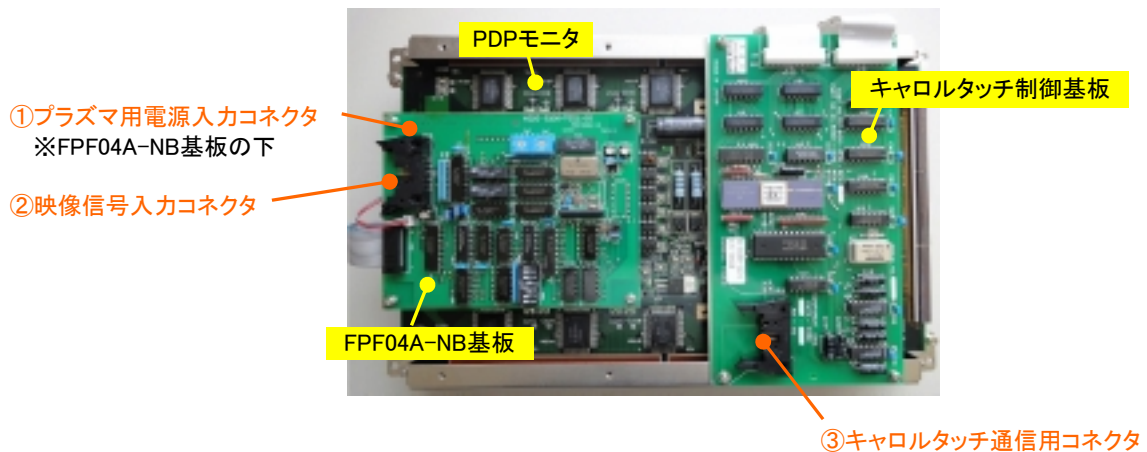


図2. 既存モニタの構成機器

3. テープ電線, キャロルタッチ制御基板の取り外し

既存モニタから図3. に示すテープ電線(2本), キャロルタッチ制御基板(赤外線センサの基板)を取り外してください。テープ電線は、キャロルタッチ制御基板のコネクタ側だけを引き抜いてください。

注意: 取り外したテープ電線は、折れ曲がった部分を延ばすと断線しますので廃棄してください。

補足: 交換用のテープ電線は、互換モニタに新品のテープ電線(4本)が同梱して有ります。

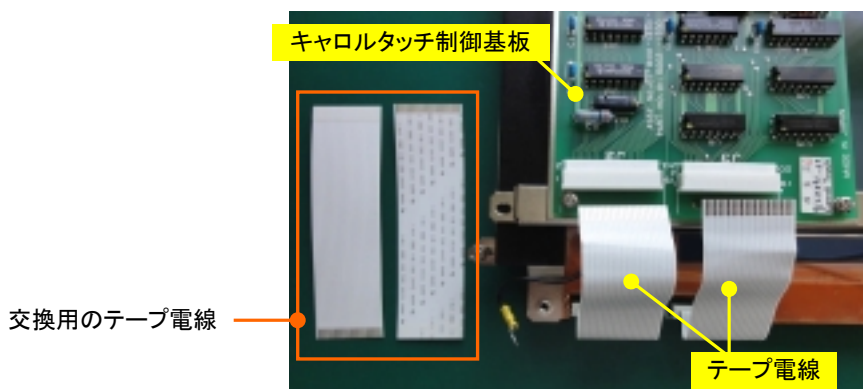


図3. テープ電線の状態

4. ベゼル, キャロルタッチ用センサ基板の取り外し

図4. に示すA部の皿ネジ(4本)を取り外し、

既存モニタからベゼル(黒い樹脂部分), キャロルタッチ用センサ基板(赤外線センサの基板)を取り外してください。なお、取り外した皿ネジ(4本)は、取り付け時に使いますので、保管しておいてください。

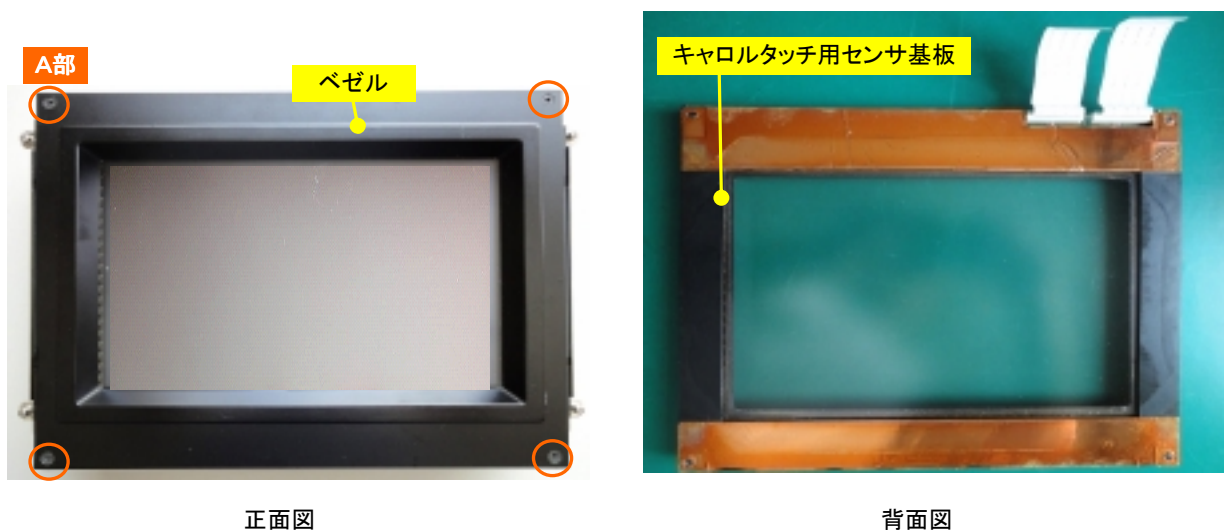


図4. ベゼル, キャロルタッチ用センサ基板

5. テープ電線の交換作業

図5. に示すテープ電線を互換モニタに同梱してある新品のテープ電線(2本とも)に交換してください。

注意: テープ電線は、両端の接続面に方向性が有りますので、方向に注意して接続してください

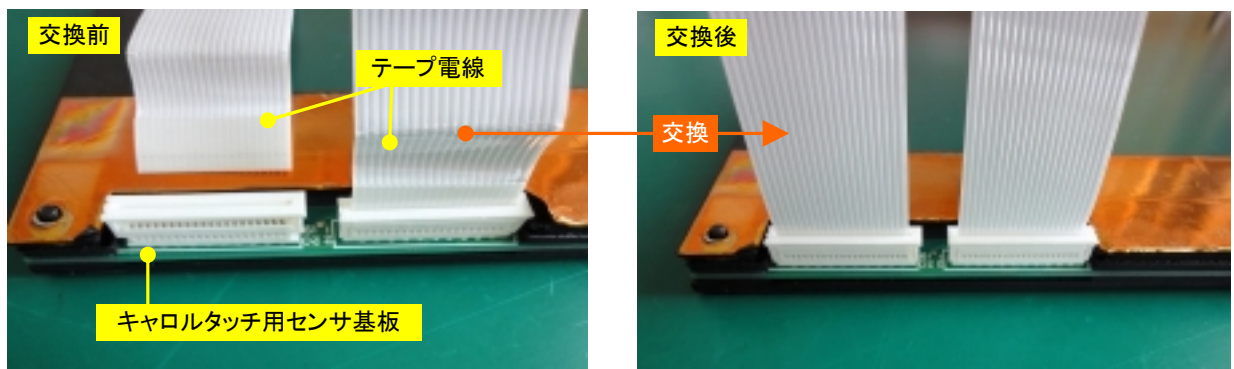


図5. テープ電線の接続状態

6. ベゼル, キャロルタッチ用センサ基板の取り付け

図6. に示す互換モニタの保護シートを剥がします。

次に、ベゼル, キャロルタッチ用センサ基板を図6. に示すB部の取り付け穴に合わせ、皿ネジ(4本)にて固定します。この皿ネジは、4. 項にて取り外した皿ネジ(図4. を参照のこと)を使います。

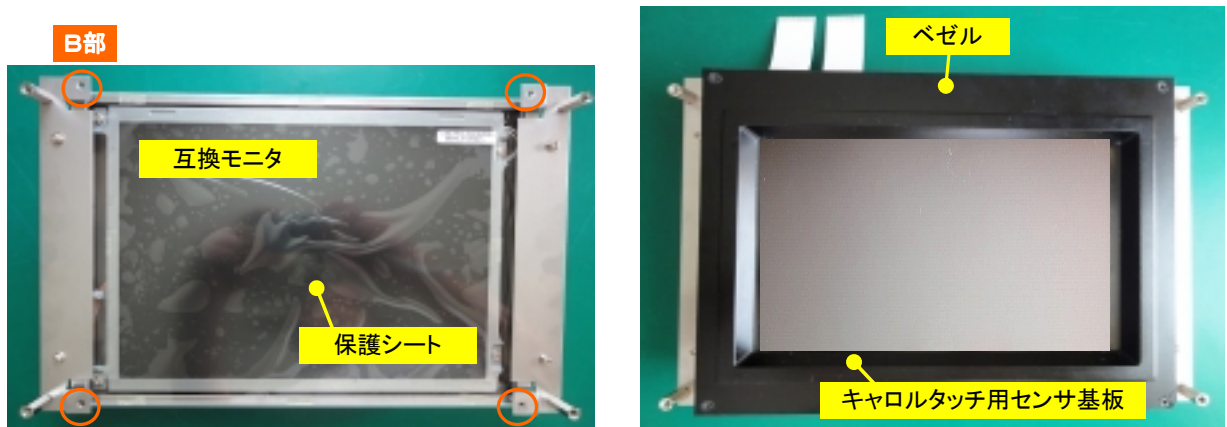


図6. 互換モニタの正面図

7. キャロルタッチ制御基板の取り付け、テープ電線の接続

キャロルタッチ制御基板を図7. に示すC部の取り付け穴に合わせ、ナベネジ(3本)とトラスネジ(1本)にて固定します。トラスネジは、図7. に示すD部のみに使用します。

キャロルタッチ制御基板の固定後、テープ電線を接続してください。

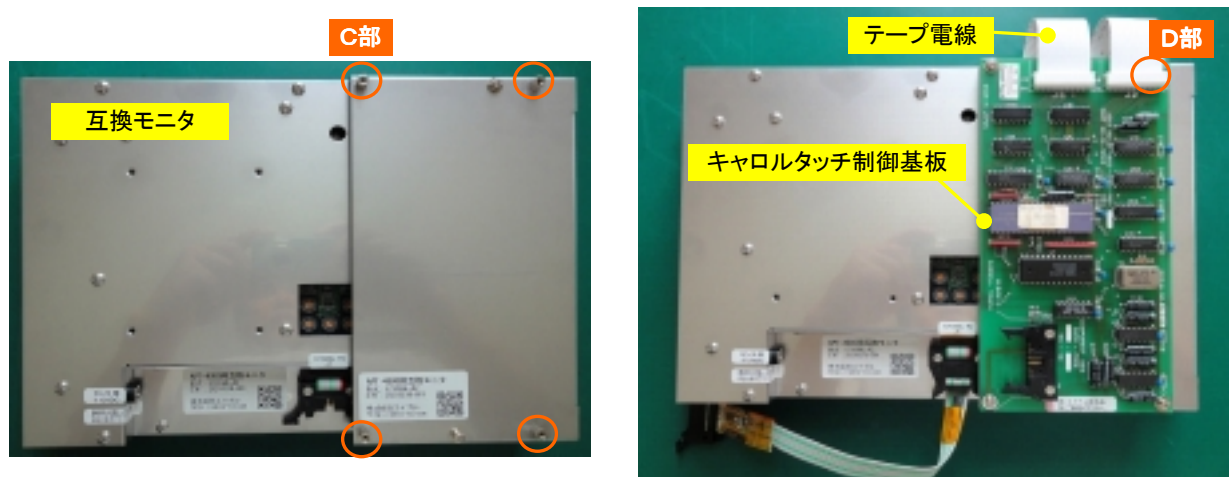


図7. 互換モニタの背面図

8. 映像用ケーブル, キャロルタッチ用ケーブルの接続

既存モニタに接続されていた映像用ケーブル, キャロルタッチ用ケーブルを図8. に示す互換モニタに接続してください。

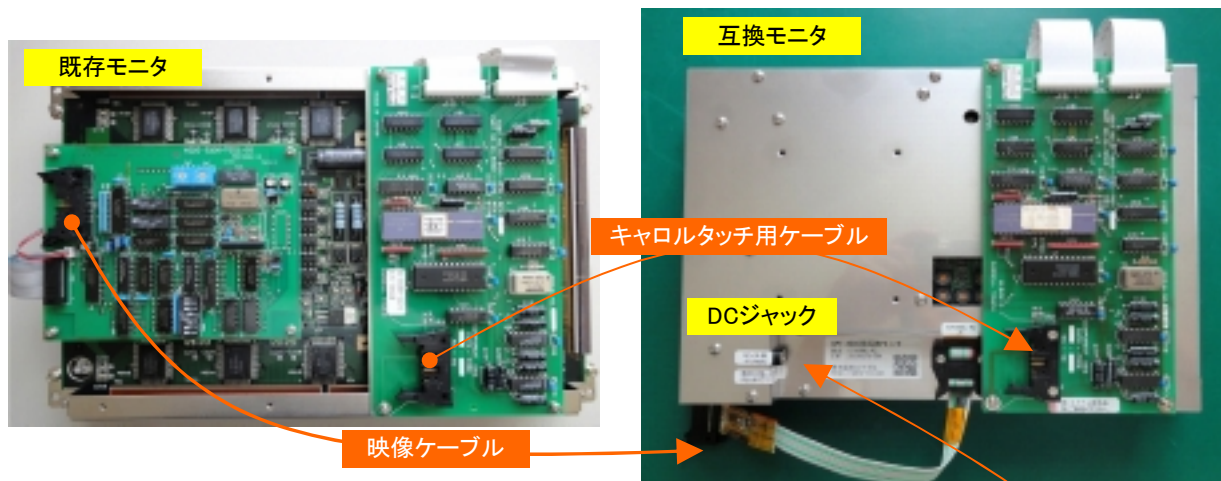


図8. 互換モニタの接続図

9. AC電源Ass'yの接続, 設置

AC電源Ass'yは、下記の通り接続してください。

DC出力 ……図9. に示すDCプラグ(センタ +12VDC)を互換モニタのDCジャックに接続してください。

AC入力 ……図9. に示すACコードを装置側のAC100Vに接続してください。

AC電源Ass'yは、適切な位置に設置、背面の両面テープを剥がし固定してください。

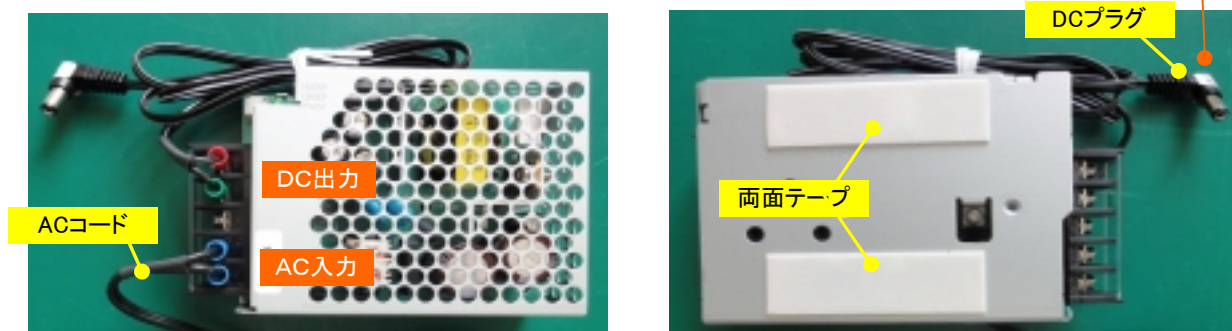


図9. AC電源Ass'yの外観図

10. 互換モニタの固定方法

互換モニタの取付けピッチは、既存モニタと同一寸法です。

互換モニタを装置本体に取付ける際は、

図10. に示すE部の六角スペーサ(4本)の位置と装置側の取付け穴を合わせ、固定してください。

六角スペーサ(4本)の取付け位置は、六角スペーサを固定しているナベネジ(裏側)を緩めれば位置調整が可能です。

注意: 出荷時は、六角スペーサ(4本)を緩めに固定していますので、装置本体に取り付ける際は増し締めをしてください。

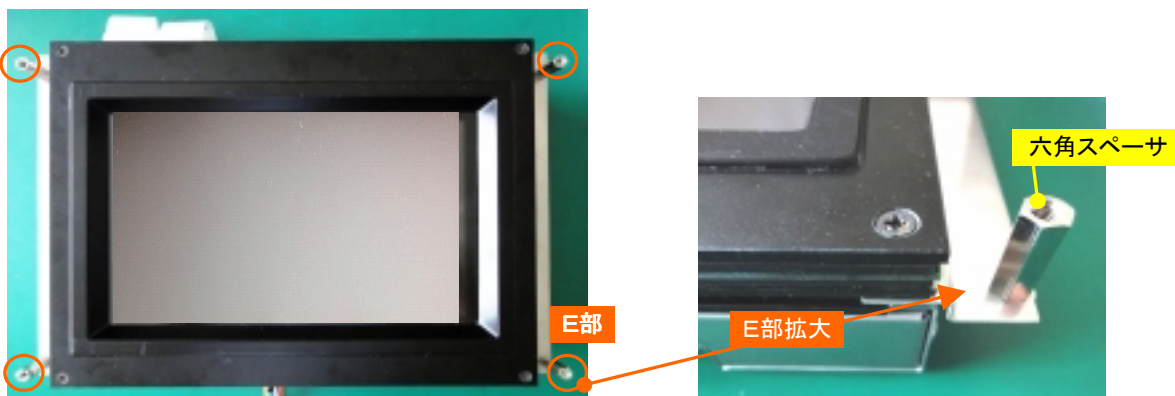


図10. 互換モニタの固定方法

以上、互換モニタの交換作業は終了です。